



3年生部会

部報



(文責：大久保)

8月31日の部会では、9月14日の提案交流会に向けて、プレゼンテーションを実際に行い、検討しました。その中で、何をどのように主張するとよいかや、単元や本時についてどのように進めていくかも話し合うことができました。また、単元に入ったということで、授業者の本多先生より1時間目と2時間目について資料を基に共通理解を図りました。児童のノートの振り返りには、単元に意欲的に取り組む子どもたちの姿が見られ、充実した学習を積み重ねていることがわかりました。

提案交流会に向けての検討より

視点1 地域に誇りをもつ教材化

- 子どもにとって距離的に身近にある玉ねぎ農家の中村さんが、単元の学習を通じて心の距離も縮まることで、地域への誇りが生まれる。
- 北もみじと札幌黄の関係を表し方について
北もみじをベースに生産を支えることで、ブランド価値の高い札幌黄も生産している。

視点2 社会的事象の意味を明らかにする問題解決の学習

- 主張を明確にする。3年生らしい体験的活動を取り入れた調査活動、比較を通して北もみじ・札幌黄の特徴を捉えるなどの主張をシャープにして伝えていく。
- ◇写真や図の見せ方、文字の色、大きさ、何を話しか、提案を聞く人が短時間でも内容が伝わるように細部まで考えていく。



視点2 本時の問題解決

- 問を生む場での「札幌市の玉ねぎ農家の数のグラフ」提示によって、「他の農家は札幌黄を作っていない」ことを読み取り、中村さんの営みとのズレを生む。
- 北もみじを多く生産している事実に着目するために、中村さんの畑の図を提示することで、「2種類の玉ねぎを生産することで、札幌黄をずっと生産できる。」中村さんの工夫に気づくことができる。

次回の部会は、**提案交流会 9月14日(水) 18:30~**

米里小学校 です。

※18:30に、時間厳守でスタートします。この時間までに集まり、着席しておくようご協力をよろしくお願い致します。